

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月2日
【事業年度】	第7期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）
【会社名】	セブンシーズホールディングス株式会社
【英訳名】	SEVEN SEAS HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤堂 裕隆
【本店の所在の場所】	東京都新宿区市谷本村町2番11号
【電話番号】	03-5225-3611
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 関 裕司
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区市谷本村町2番11号
【電話番号】	03-5225-3611
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 関 裕司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月28日に提出した第7期(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

4 関係会社の状況

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

関連当事者情報

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

附属明細書

引当金明細書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

4【関係会社の状況】

(訂正前)

名称	住所	資本金又は 出資金 (千円)	主要な事業の 内容	議決権の所有(被所有)割合		関係内容	摘要
				所有割合 (%)	被所有 割合 (%)		
(前略)							
(持分法適用関連会社) セブンシーズ・テックワークス(株)	東京都新宿区	983,800	IT事業	25.0	-	資金の借入 役員の兼任3名	2
(株)ピアール・ライフ	東京都台東区	10,000	マーケティング事業	51.0 (12.8)	-	役員の兼任1名	1.4
(後略)							

(注) 1 「議決権の所有(被所有)割合」欄の(内書)表示は間接所有であります。

2 有価証券報告書提出会社であります。

3 債務超過会社で平成23年3月末時点のセブンシーズ・アセット・マネジメント(株)の債務超過の額は、2,996,033千円となっております。

4 (株)ピアール・ライフの間接所有における直接所有者は、セブンシーズ・テックワークス(株)であります。

5 (株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアについては、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等 (株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディア

(1) 売上高	482,902千円
(2) 経常損失()	133,649千円
(3) 当期純利益	2,226,936千円
(4) 純資産額	102,886千円
(5) 総資産額	839,582千円

6 モバイル・コマース・ソリューション(株)及びDR Fortress, LLCについては、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えておりますが、それぞれカードソリューション事業、データセンター事業での割合が100分の90を超えているため、主要な損益情報等の記載を省略しております。

7 連結子会社であった(株)クリエイティブ・テクノロジーについては、売上高(連結相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。なお、平成23年3月に(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアと合併したため、同社を連結の範囲から除外しております。

連結の範囲除外時の主要な損益情報等は次のとおりであります。

主要な損益情報等 (株)クリエイティブ・テクノロジー

(1) 売上高	693,439千円
(2) 経常損失()	8,094千円
(3) 当期純利益	15,339千円

(訂正後)

名称	住所	資本金又は 出資金 (千円)	主要な事業の 内容	議決権の所有(被所有)割合		関係内容	摘要
				所有割合 (%)	被所有 割合 (%)		
(前略)							
(持分法適用関連会社) セブンシーズ・テックワークス(株)	東京都新宿 区	983,800	I T 事業	25.0	-	資金の借入 役員の兼任3名	2
(後略)							

(注) 1 「議決権の所有(被所有)割合」欄の(内書)表示は間接所有であります。

2 有価証券報告書提出会社であります。

3 債務超過会社で平成23年3月末時点のセブンシーズ・アセット・マネジメント(株)の債務超過の額は、2,996,033千円となっております。

4 (株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアについては、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等 (株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディア

(1) 売上高	482,902千円
(2) 経常損失()	133,649千円
(3) 当期純利益	2,226,936千円
(4) 純資産額	102,886千円
(5) 総資産額	839,582千円

5 モバイル・コマース・ソリューション(株)及びDR Fortress,LLCについては、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えておりますが、それぞれカードソリューション事業、データセンター事業での割合が100分の90を超えているため、主要な損益情報等の記載を省略しております。

6 連結子会社であった(株)クリエイティブ・テクノロジーについては、売上高(連結相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。なお、平成23年3月に(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアと合併したため、同社を連結の範囲から除外しております。

連結の範囲除外時の主要な損益情報等は次のとおりであります。

主要な損益情報等 (株)クリエイティブ・テクノロジー

(1) 売上高	693,439千円
(2) 経常損失()	8,094千円
(3) 当期純利益	15,339千円

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

【関連当事者情報】

(訂正前)

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(省略)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 関連当事者との取引

1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の非連結子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
関連会社	セブンシーズ・テックワークス(株)	東京都新宿区	983,800	システムソリューション事業	直接 25.0	資金の借入 役員の兼任	債務の移転	124,000	短期借入金	176,000
							借入金の返済	14,404		
関連会社	(株)ピーアール・ライフ	東京都台東区	10,000	総合広告代理店業	間接 12.8	資金の借入 役員の兼任	債務の移転	300,000		

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

上記借入に関しては、市場金利を勘案した利率を基に決定しております。

2. 上記債務移転に関しては、当社のセブンシーズ・テックワークス(株)及び(株)ピーアール・ライフに対する借入金を、(株)A&Mコーポレーションが免責的に債務引受しております。

(後略)

(訂正後)

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(省略)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 関連当事者との取引

1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の非連結子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
関連会社	セブンシーズ・テックワークス(株)	東京都新宿区	983,800	システムソリューション事業	直接 25.0	資金の借入 役員の兼任	債務の移転	124,000	短期借入金	176,000
							借入金の返済	14,404		
関連会社 (当該関連会社の子会社を含む)	(株)ピーアール・ライフ	東京都台東区	10,000	総合広告代理店業	間接 12.8	資金の借入 役員の兼任	債務の移転	300,000		

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

上記借入に関しては、市場金利を勘案した利率を基に決定しております。

2. 上記債務移転に関しては、当社のセブンシーズ・テックワークス(株)及び(株)ピーアール・ライフに対する借入金を、(株)A&Mコーポレーションが免責的に債務引受しております。

(後略)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【注記事項】

【附属明細書】

【引当金明細書】

(訂正前)

区分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	5,399,116	<u>279,539</u>	<u>1,637,413</u>	464,452	3,576,788
投資損失引当金	-	66,002	-	-	66,002

(注) 貸倒引当金の当期減少額(その他)は、一般債権の貸倒実績による洗替額268,796千円、貸倒懸念債権の回収による戻入額92,744千円、貸倒懸念債権の回収可能額増加による戻入額102,912千円であります。

(訂正後)

区分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	5,399,116	<u>326,110</u>	<u>1,683,985</u>	464,452	3,576,788
投資損失引当金	-	66,002	-	-	66,002

(注) 貸倒引当金の当期減少額(その他)は、一般債権の貸倒実績による洗替額268,796千円、貸倒懸念債権の回収による戻入額92,744千円、貸倒懸念債権の回収可能額増加による戻入額102,912千円であります。

以上